

# 座間第3団 発団30周年特別記念誌

## フェニックス

### 目次

1 . 目次-----	P 1
2 . 育成会会長挨拶-----	P 2
3 . 団委員長挨拶-----	P 3
4 . 座間市長お祝いの言葉-----	P 4
5 . 座間市教育委員会 教育長お祝いの言葉-----	P 5
6 . 県央地区 地区協議会長お祝いの言葉-----	P 6
7 . 県央地区 地区委員長お祝いの言葉-----	P 7
8 . 育成会準会員 座間市議会議員お祝いの言葉-----	P 8
9 . 座間中央ロータリークラブお祝いの言葉-----	P 9
10 . 座間ロータリークラブお祝いの言葉-----	P 10
11 . 座間第1団 団委員長お祝いの言葉-----	P 11
12 . 座間第2団 団委員長お祝いの言葉-----	P 12
13 . ビーバー隊リーダー-----	P 13 ~ 15
14 . カブ隊リーダー-----	P 16 ~ 19
15 . ボーイ隊リーダー-----	P 20 ~ 23
16 . ベンチャー隊リーダー-----	P 24 ~ 25
17 . 30年のあゆみ-----	P 26 ~ 36
18 . 写真集 ビーバー隊-----	P 37 ~ 44
カブ隊-----	P 45 ~ 57
ボーイ隊-----	P 58 ~ 70
ベンチャー隊-----	P 71 ~ 75
団・育成会-----	P 76 ~ 79
19 . 進級スカウト-----	P 80 ~ 81
20 . 寄せ書きビーバー隊-----	P 82 ~ 83
カブ隊-----	P 84 ~ 85
ボーイ隊-----	P 86 ~ 87
ベンチャー隊・スカウトOB-----	P 88
団・育成会-----	P 89
21 . 団スタッフ-----	P 90 ~ 94
22 . 編集後記-----	P 95



## 発団30周年を祝して

座間第3団

育成会会長 鈴木 正夫

日本ボーイスカウト神奈川連盟県央地区座間第3団発団三十周年記念衷心よりお慶び申し上げます。

一步一步、一日一日と積み上げて来られて、三十年の歴史を刻まれた事に敬意を表します。これも偏に指導者の方々が、日本ボーイスカウト教育規定を、バイブルとして我子を含む青少年が立派に育ててほしいと願う熱い心が、育成会員の皆様と共々途切れる事無く努力された結果がこの歴史を築かれたものと確信しております。

同時に、座間市長さん、教育長さん、行政の方々、直接的には有志市議会議員の皆様、座間ロータリークラブ、座間中央ロータリークラブ、ボーイスカウト活動にご理解して頂いている方々に座間第3団の準会員になって頂きご支援をいただいております。そして地域の多くの方々に支えられてこの三十年の歴史があるのです。本当に皆様有難う御座いました。

スカウト人口減少の状況下にあって、お蔭様で座間第3団は、ボーイスカウト日本連盟より「組織拡充優良団Aランク」として、昨年度表彰されました。現在登録人数は県央地区で2番目の隊員数66名であることを報告させていただきます。

これからも指導者の皆さんがその情熱を頓挫することのないよう、育成会員いちがんとになり、微力ではありますが、指導者の活動し易い環境作りに努力いたします。

日本ボーイスカウト座間第3団の益々の発展を祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

## 発団30周年によせて



座間第3団

団委員長 根塚 行夫

日本ボーイスカウト神奈川連盟県央地区座間第3団が発団30周年を迎えられることが出来ました事を心より喜ぶと共に、この30年間、当団の発展にご支援、ご協力を賜りました多くの方々に厚く御礼を申し上げます。

今年行われた30周年記念合同キャンプでは、上級スカウトから適切な指導、助言を受けたビーバー、カブスカウトたちが、活動体験を通じ、大きな成長をなし得たことを信じてやみません。

スカウトのひとりひとりが新たな自覚をもって、B・Pの残された幸福な人生への道、スカウティングの精神をより深く追求し、いま何をすべきかを常に考え、さらに飛躍してゆくことを心から期待しております。

野外活動を中心とした、ボーイスカウト活動を通じて得た、体験、知識、技能は必ず長い人生の中に役立つものと信じ、日々の活動に励んでください。

また、重ねて座間第3団を支えてくださった育成会、団、指導者、地域等、多くの方々のご尽力に心より感謝を申し上げます。

今後とも、皆様方の温かいご指導とご鞭撻の程よろしくお願いいたします。





## 30周年を祝して

座間市長  
遠藤 三紀夫

日本ボーイスカウト神奈川連盟県央地区座間第三団の発団30周年、誠におめでとうございます。

紐解けば、イギリスを発祥として約100年の歴史を刻むスカウト運動も、今や世界中で広がり見せ、日本でも大正時代にその活動が始まったと伺っております。

こうしたグローバルな伝統に支えられた中で、貴団におかれましては、昭和54年に発団されて以来、今日まで規律ある団体生活を通して健全な身体と友愛の精神を養い、たくましく心豊かな人材を育成されてまいりました。これもひとえに歴代の団委員長をはじめ育成会ほか関係者の皆様方のご熱意とご努力の賜物であり、心から敬意を表する次第でございます。

さて、将来を担う青少年の健全育成は私たち大人の責務でございますが、昨今の殺伐とした世相を反映して子供たちの健やかな成長を阻害する要因も多く存在していることから、社会全体で取り組むべき最重要課題となっております。

私ども行政といたしましても、引き続いて学校・家庭・地域との連携、さらには貴団をはじめとする関係団体との協働で積極的な施策の推進を図り、子供たちのために望ましい環境づくりに努めてまいり所存でございます。その意味でも、これからのスカウト活動に対する期待もますます大きくなっていくものと存じ、貴団には、尚一層のご精進を賜り、子供たちの健やかな成長に向けて、その活動の輪を大きく広げていただきますようお願い申し上げます。

この30周年を契機として、日本ボーイスカウト神奈川連盟県央地区座間第三団がさらなる発展を遂げられますとともに、根塚団委員長をはじめ関係皆様のご活躍を心から祈念申し上げます、お祝いのことばといたします。



## 発団30周年を祝して

座間市教育委員会  
教育長 金子 槇之輔

日本ボーイスカウト神奈川連盟県央地区座間第三団の発団30周年を、心からお喜び申し上げます。

貴団におかれましては、昭和54年に発団されて以来、30年という長きにわたり、歴代の団委員長をはじめ育成会、指導者、そして団員皆様が一丸となって団運営とスカウトの資質向上にご尽力され、大きな発展を遂げられました。そうした皆様方の献身的なご努力に対し、深く敬意を表する次第です。

ここ数年、青少年にかかわる事件が続発し、しかも犯罪性や残虐性は益々その度合いを深めております。今更のごとく幼児期から青少年期に獲得する、価値観や社会性、人権感覚などはその後の本人の人生のみならず、社会全体に及ぼす影響も含め、非常に大切なものであると痛感しております。

将来を担って立つ青少年が、心身ともに健康でたくましく成長してくれることは社会共通の願いであります。本市におきまして、「豊かな心の育成」を主題に掲げ、学校、家庭や地域との連携、さらに関係団体のご協力をいただきながら、青少年の健全育成に向けてよりよい環境づくりに努めているところであります。

そのような中、スカウト運動は、野外活動や様々な体験活動を通し、規律ある団体生活をもって友情と奉仕の精神を育み、心豊かな人材の育成に力を注いでこられました。貴団に寄せられる期待は今後益々増大するものと考えます。今後とも青少年の健全育成のために変わらぬお力添えをお願い申し上げます。

結びに、座間第三団の益々のご発展と根塚団委員長はじめ関係皆様のご健勝とご活躍を心からご祈念申し上げまして、お祝いの言葉といたします。



## 発団30周年を祝して

神奈川連盟 県央地区  
地区協議会長 中村 俊雄

ボーイスカウト県央地区座間第3団は、昭和54年に座間第1団より分封されて以来、ここに発団30周年を迎えましたことを心からお喜び申し上げます。

一口に30年と申し上げても短い年月ではありません。その長い年月を一つの道に向かって歩むということは、容易ならざることを、発団以来の先輩、関係者の方々が誠実に身をもって果たされてきたのであります。

申すまでもなく現在、座間第3団はきっと根塚団委員長の下、スカウト、指導者の方々は意思の強さを表にあらわし、それでいてやさしさも感じる非常にいい顔をされていると思います。スカウトもきっと隊集会、班集会、組集会を楽しんでいると思います。

地区といたしましても、スカウトの減少傾向が続く中、座間第3団は組織、機能においても立派な運営をしており、充実した団と高く評価しております。

この30周年を迎えるに至る今日までボーイスカウト運動を通じて、青少年の健全育成に取り組まれてきた多くの関係者に深く敬意を表する次第です。

さらに、座間第3団におきましては、この30周年を転機として、指導者、スカウトが心をひとつにして、ますます充実した健全な発展を続けることを期待し祈念いたします。

また座間第3団の指導者の方々には地区運営にご奉仕いただいておりますが、今後とも地区の発展と後進の指導にこれからもお力をお貸しください。本日はおめでとうございます。





## 発団30周年を祝して

神奈川連盟 県央地区  
地区委員長 白倉 栄太郎

発団30周年まことにおめでとうございます。

30年の長き道のりを承け継いで来られた団関係者の皆様に敬意を表します。団委員長をはじめ指導者の方々には地区の中核としてご尽力、ご奉仕を戴いていること、感謝申し上げます。

ボーイスカウト運動は100周年を越え長い伝統をもつ国際的な組織であり、この運動を次の世代に私たちは引き継いでいかなければなりません。しかし、近年子どもの少子化、多様化等でスカウト人口も残念ながら年々減少傾向にあり、取り巻く環境はますます厳しくなっています。継続・発展させるためには、家庭、学校、地域と三位一体となって展開していくことが不可欠です。

座間第三団は、伝統的に実践してきた活動の成果が昨年度、日本連盟の組織拡充において優良団として顕彰を受け、皆様が熱心に取り組んでこられた証ではないかと思えます。

これから50周年、100周年に向け精進を重ね、諸先輩が築き上げた伝統の灯を絶やすことなく、その伝統を誇りとして更に大きくはばたき続けて戴きたいと思えます。

座間第三団のますますのご発展を心よりお祈り申し上げます。

弥栄



## 30周年を祝して

育成会 準会員

座間市議会議員 飛田 昭

三指 日本ボーイスカウト座間第3団発団30周年の記念誌の発刊を御祝い申し上げます。

団員の皆様におかれましては常に「ちかい」と「おきて」の実践を基盤として活動され、今日まで市行事を始め各種行事において積極的にボランティアとして行動をされ市民をはじめ多くの関係者の方からも感謝をされております。

今日まで30年間少子化が進む状況や生活環境の変化の中で青少年の健全育成活動に尽力されました歴代の育成会長、団委員長をはじめ関係者のご熱意とご努力に敬意を表する次第であります。

団の皆様はスカウトの「おきて」にありますように、誠実・友情に厚い・礼儀正しい・親切である・快活である・勇敢である・感謝の心を持つ、など青少年の模範として野外活動などを通じ自立心、自然を学び友情や協調の精神を身につけるなど学校では学べない素晴らしい社会教育運動を体験されております。

これからも地域活動においてビーバースカウト、カブスカウト、ボーイスカウト、ベンチャースカウト、ローバースカウトなどの皆様が各部門別において奉仕活動をはじめ諸活動にますますご活躍されます期待をいたしております。

最後になりますがこの30周年を契機に、日本ボーイスカウト座間第3団が更なる飛躍をされますことを、さらに根塚団委員長をはじめ関係皆様の益々のご活躍を心よりご祈念申し上げますお祝いの言葉と致します。

弥栄





## 発足30周年によせて

座間中央ロータリークラブ

会長 手塚 正夫

早いものですね、30年誠におめでとうございます。当事者の皆様方には大変なご苦労があった毎日の積み重ねだったと思います。

振り返れば今は平穏な思い出だけが脳裏を駆けめぐっていることでしょう。

地域を共にする者にとって、たのもしく、又安心すると同時に胸を張って誇りに感じます。有難うございます。

30年の長さは経験した人だけが知るものです。その苦労も、又楽しみも、忍耐の時の長さも、すべて経験なされた皆様方ですから今日の30年という花が咲いたのです。

私もすこしばかりお手伝いをさせていただきましたから、前鈴木団委員長さん当時の金銭的苦しい当時、スカウトの募集の苦労種々あったことでした。今になれば唯話として残るのみですが、この苦しみ忍耐が今日の座間第3団の姿を作り出したことを思いますと、地域の住民の一人としてよかったと感謝申し上げます。

ほんとうにおめでとうございます。

今は亡き斉藤隆寿先生が若し生きていたらきっと一言「良かった。良くやってくれた。」と大きい声で喜んだことと思います。

大勢の涙と力が集まって30年を迎え本当におめでとうございます。



## 発足30周年によせて

座間ロータリークラブ

会長 川口 淳三

ボーイスカウト座間第3団発足30周年おめでとうございます。  
私たち座間ロータリークラブでは1972年よりボーイスカウト座間第1団に対して助成を開始し次にガールスカウト3団体、ボーイスカウト座間第2団へと助成団体を増やし、座間第3団に対しましては1981年より助成させていただいております。

日頃よりの座間市での奉仕活動(相模川クリーン推進、大風まつり、市民ふるさとまつり、など)座間ロータリークラブの活動への協力(2007年の水保全事業記念碑寄贈式では芹沢公園に隣接する水源の清掃と贈呈式、他)に感謝を申し上げます。

また、発足30周年を機に、第3団の活動を行動計画書、ホームページでその活動を確認させていただきました。(ボーイスカウトにビーバー、カブ、ボーイ、ベンチャー、ローバーがあり上部組織に世界連盟、日本連盟、県連盟、地区、があることをそこで初めて知りました。)市内他団体を卓越した第3団の活動に驚嘆するとともに、それを支える育成会の活動に改めて敬意を表します。

育成会の目標《ビーバースカウトを増やそう》《隊行事への積極的参加と支援》《健全財政の確立》《会員相互の親睦》に対する取り組みの成果が発足30周年記念式典の開催、記念誌の発行にもあることでしょう。

座間ロータリークラブも育成会の協力団体として活動を今後とも続けてまいり所存です。ここに改めて、ますますの日本ボーイスカウト座間第3団の発展を祈念いたします。

## 発団30年、ひかりの道

ボーイスカウト座間第1団

団委員長 倉田 清明

三指 発団30年おめでとうございます。ボーイスカウト座間第3団が発団したのは昭和54年(1978年)のことです。いまから30年前。さて皆さんの30年前はどうだったでしょうか? 30歳以下の人はまだ生まれていませんね。生まれていても小学校2年生の秋まではボーイスカウトに入隊はしていなかったでしょう。リーダーや先輩に聞くといろいろな話を聞くことができるでしょう。30年前ではなく20年前、10年前の話も興味深いものがあると思います。だけど未来は君たちのものです。君たちの手で作ってってもらいたいと思います。いままでの30年に感謝をして、今度はこれからの座間3団の歴史、足跡を君たちが作っていくのです。

詩人高村光太郎の「道程」に「僕の前に道はない、僕の後ろに道はできる。」ということばがあります。スカウトの進んだ後には道ができます。そして弟や妹はその道を歩んできます。未来に向かって正しく進む道を作ってください。君たちが進む道の道標(みちしるべ)となるのはスカウトの「ちかいとおきて」、「やくそくとさだめ」です。君たちの道をあかるく照らしてくれています。

そして第3団で育ったスカウトたちが、リーダーとなって活動を続けてくれています。こんなにうれしいことはありません。第3団を支えてくれた多くの方々にその報告と感謝を申し述べたいと思います。ありがとうございました。

スカウトのみなさん、未来の第3団は君たちの手で作ってってください。

弥栄

## 発団30周年によせて

ボーイスカウト座間第2団

団委員長 高橋 博伸

座間第3団発団30周年誠におめでとうございます。  
また、座間第2団の活動にも多大な協力をいただきありがとうございました。

さて30年という期間を考えると大変長い間と漠然と思うのですが、この機会にと思い30年前の出来事を調べてみました。

身近な出来事として新東京国際空港（成田空港）が開港しています。江川卓が空白の一日で巨人軍に入団し、映画「スターウォーズ」の第1作が公開されています。そして、チャリティーで今でも有名な24時間テレビが始まったのもこの年でした。さらに宮城県沖地震が発生し多くの被害が出たのもこの年です。

このように世間では弱者への視点を持った行動、災害時の無償の奉仕などへの感心が高まっていた時期に発団され現在まで活動を続けておられるのが座間第3団だと思います。

もちろんそのような環境だからといって団の運営がたやすく行えるはずなどなく、これまで数々のご苦労があったものと思いますし、大変なご努力があって今日の座間第3団があるはずです。

私自身ボーイスカウトの活動経験が短く拙い経験しか持ち合わせていませんが、それでも関係者の皆様の不断の情熱と努力の賜物が今の座間第3団だと思います。

30年にわたり大人数のスカウトを擁し活動を続けられている事、またその努力に対して敬意を表させていただきます。